



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成22年4月 No.9

海も温みはじめ**海難が総じて増加する時期**です。特に、漁船による海難は過去5年（H17～H21）のデータで3月の10隻から4月の26隻と約3倍の増加となっています。

これまでに経験したり、見たり聞いたりした**ヒヤリハットを生かし海難を予防**しましょう。

危うく衝突しそうになって**ヒヤッ**としたり**ハット**したことはありませんか。

「ハインリッヒの法則」別名「**1対29対300の法則**」ではこのヒヤリハットが重大事故への前触れを暗示しています。

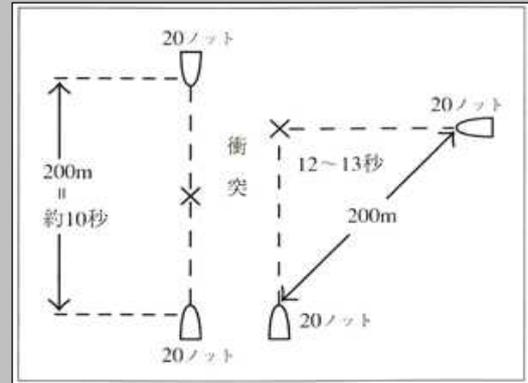
「ハインリッヒの法則」は大きな事故、災難の1件の影には、29件の小さい怪我や事故、300件のヒヤリハットが存在しているという法則です。

事前に意識されない出来事はヒヤリハットの領域で不思議と怪我をしないものですが、いつかは小さな怪我、ついには大きな死亡などの事故に突然見舞われる結果となります。つまり、「**危ないことをしていれば、いつかは怪我をする**」という法則です。

ヒヤリハットを生かすことが大切です。

- ・経験した「ヒヤリハット」は**原因を考**え、二度と起こさないようにする。
- ・他人のせいとせず、**反面教師**として、「ヒヤリハット」を活用する。
- ・「ヒヤリハット」を仲間で共有し**注意し合**う。

【急接近の危険性】



船の速力が20ノット同士の船舶は10秒で衝突します。また、横切り関係にある場合12.3秒で衝突します。一寸した油断が大きな事故に繋がります。

「安全運航のいろは」日本海難防止協会刊抜粋

ゴールデンウィークにおける**マリレジャー安全推進活動**が**4月29日から5月5日**の間で行われます。ライフジャケットの常時着用 携帯電話などの適切な連絡手段の確保 海のもしもは118番を心がけましょう！

（事例）野寒布岬沖合いでの木材流出事故

平成22年2月27日0615頃、稚内野寒布岬の北西約12海里付近で外国貨物船T号が積荷の木材を流失させました。

このため宗谷海峡及びオホーツク海付近を航行する船舶に航行警報及びAISにより注意喚起を行いました。

左の図は2月27日から3月3日までの間に海上保安庁の巡視船艇、航空機で調査した漂流木材とその間に通航したAIS搭載船の状況です。

流水時期のため比較的通航船舶が少なく海難がなかったのは幸いでした。**積荷がある場合は、出港時の十二分なラッシングと、安全確認を怠らないように**しましょう。

漂流木材と付近航行船舶の通航状況



AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報、航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (3) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (4) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

都合により、4月25日午前9時頃から4時間程度AISによる業務を休止いたします。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134-27-0118

(内線：2615、2623)

次号へ続く～